

登録コード	A2510300	開講年度	2026				
授業科目	国際共修プログラムA					担当教員	BAGOUDOU ABDEL FAWAZ 他
英文授業名	Collaborative Online International Lectures A						
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	農学部生
講義室				授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している					農学分野の諸問題に対して、専門的な情報を収集し、論理的に議論できるようになる。	
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					農学分野の諸問題に対して、国際社会における多様な価値観を理解して、他者と協同して課題に取り組めるようになる。	
	2 0 2 6 A3 編 (24A), 2 0 2 5 A3 編 (23A), 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					農学分野の諸問題に対して、専門的な情報を収集し、論理的に議論できるようになる。	
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					農学分野の諸問題に対して、国際社会における多様な価値観を理解して、他者と協同して課題に取り組めるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	信州大学農学部と海外学術交流協定校の学生がWeb会議システムを通して参加する形態で授業を実施する。最初に、双方の大学の教員が、国内外の農林畜産業・食品産業・環境管理について概要を解説する。双方の学生が、それぞれの国の農林畜産業の生産・流通・消費などの持続的発展と課題について、グループごとに情報を収集し発表資料をPower Pointで作成する。Web会議システムを通して、双方の学生が英語で発表・質疑応答を行う。						
(5)授業計画	1．プログラムの選択と、海外協定大学 次の2つのプログラムから、一つを選択して授業に参加します。 A（食品・食料生産系）：Fawaz、諸白、片山 海外協定大学：インドネシア・ブラビジャヤ大学 B（森林・環境系）：城田 海外協定大学：ドイツ・ロッテンブルク林業大学 2．基本的な授業の進め方 （1）第1回目にガイダンスを実施し、2つのプログラムの概要を説明し、各自選択してもらいます。 （2）両プログラム共にオンライン会議システムで、海外協定校と接続し、双方の教員が授業を実施し、双方の学生と一緒に学びます。 （3）プログラムA（食品・食料生産系）、プログラムB（森林・環境系）で、複数のテーマに分けて、日本と海外協定校の国の現状や課題について学び合い、意見交換を行います。 （4）主な授業の内容は以下の通り。 ・ガイダンスおよび自己紹介 ・講義：日本の農業・畜産業・食品産業・林業・環境管理の発展と課題 * 協定大学も同じように、その国の農林畜産業について学びます（英語＋日本語） ・グループワーク：日本の畜産の発展と課題につて情報収集・プレゼン準備 * 少人数のグループに分かれ、グループごとにテーマを決めて、英語と日本語で文献を調べ、英語でプレゼン準備を行います。 ・英語でのプレゼンテーションスキルの向上 * 実際に英語でのプレゼン練習や、質疑応答を想定した練習をします。 ・協定校と双方向でのプレゼンテーションの実施および質疑応答 * オンライン会議システムで協定校とつなぎ、双方向でグループごとにプレゼンを実施し、質疑応答や意見交換を行います。 ・最後に、まとめのセッションで感想や意見を伝え合います。 ・課題として、テーマごとにレポートを作成し、提出を課します。						
(6)自主学習の指針	Students are recommended to read articles related to the lecture content. 関連する文献（日本語・英語）を読み情報を収集するとともに、それぞれの分野で必要な科学英語および英語での文章作成・プレゼン力を向上させて下さい。						
(7)成績評価の基準	Student will get credits for this lecture when they get score of over 60 point for reports that measure scientific English skills. プレゼンテーションおよびレポートで60点を取れば可とする。 60 points or more: It reaches the lowest level. 70 points or more: level reached. 80 points or more: Excellent. 90 points or more: Excellent in particular. 60点以上：最低の水準に達している。 70点以上：水準に達している。 80点以上：優れている。 90点以上：特に秀でている。						

(8)事前事後学習の内容	Students are encouraged to learn basic English grammar and words in advance. 原則、英語レベルは問わないため、事前に英語学習に励むことを推奨する。
(9)テストやレポートの予定	Students are requested to submit a report to each lecture. 各セッションごとにレポートを課す（実施するテーマごと）。
(10)成績評価の方法	Students will be evaluated comprehensively by averaging scores of each report. 各セッションでのプレゼンテーション力、レポートの評価点を平均して総合的に評価する。
(11)質問、相談への対応および連絡先	BAGOU DOU Abdel Fawaz : fawaz@shinshu-u.ac.jp
(12)履修上の注意	Students are encouraged to acquire a certain level of English skills and scientific English words in advance. ある程度の英語力および科学系単語を身につけておくことが好ましい。
【教科書】	None specified. 特に指定しない。
【参考書】	None specified. 特に指定しない。